

OpenBlocks IDM RX1

セットアップガイド

FW4.0.6/FW5.0.1 以降に対応

対象モデル
OBSIDMRX1



ユーザーズガイド 1.0.2 (2023/03)

商標について

- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することとはご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

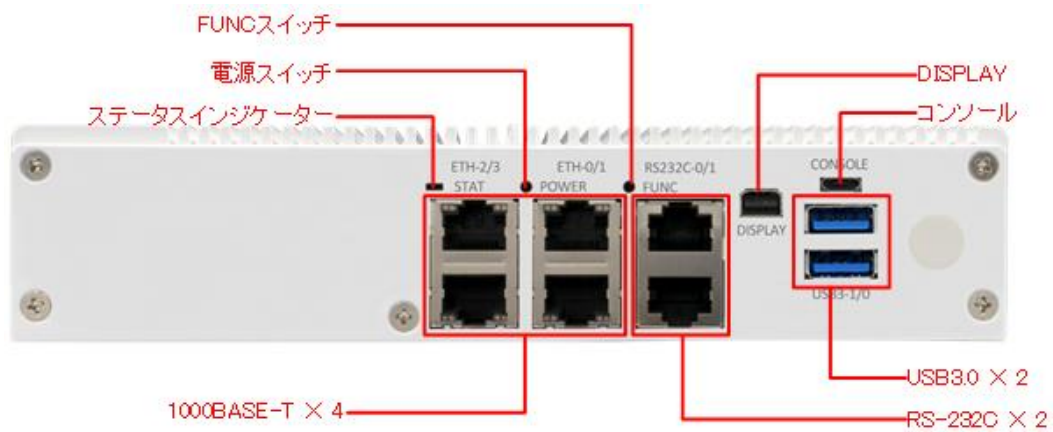
目次

1.	はじめに	3
1.1.	各部の名称	3
1.2.	ケーブルクランプの取り付け	4
1.3.	ステータスインジケータの点灯について	4
1.4.	出荷時設定情報	4
1.4.1.	IP アドレス	4
1.4.2.	WEB I/F の URL	5
1.4.3.	WEB I/F の管理者ユーザー	5
1.4.4.	シリアルコンソール/SSH 用 管理者ユーザー	5
2.	OBSIDMRX1 の設置・初期設定	6
2.1.	設置・設定のステップ	6
2.2.	初期設定	7
2.2.1.	設定端末の接続	7
2.2.2.	WEB 操作画面の表示	8
2.2.3.	使用許諾契約書の確認	8
2.2.4.	初期設定	9
2.2.5.	ネットワークの設定	10
2.2.6.	装置の停止・再起動	12
3.	WEB 操作画面	13
3.1.	ダッシュボード	14
3.2.	サービス	15
3.2.1.	基本	15
3.2.2.	RealBoard	15
3.2.3.	API 設定	17
3.3.	システム	19
3.3.1.	フィルタ開放	19
4.	OpenBlocks IoT シリーズ経由で IoT センサーデータ取り込み例	20
5.	注意事項	38
5.1.	電源断について	38

1. はじめに

1.1. 各部の名称

■ 前面コネクタ



■ 背面コネクタ



1.2. ケーブルクランプの取り付け

AC-IN 下の穴に添付のクランプを差し込みます



1.3. ステータスインジケータの点灯について

状態	ステータスインジケータ
停止中	消灯
起動処理中・停止処理中	黄色点灯
稼働中(通常稼働中)	緑点滅
稼働中(AirManage 加入失敗時)	赤点灯

1.4. 出荷時設定情報

1.4.1. IP アドレス

インターフェース	IP アドレス	ネットマスク
Ether-0(ETH0)	169.254.0.200	255.255.0.0
Ether-1(ETH1)	未設定	未設定
Ether-2(ETH2)	未設定	未設定
Ether-3(ETH3)	未設定	未設定

1.4.2. WEB I/F の URL

インターフェース	URL
HTTP 接続	http://169.254.0.200:880
HTTPS 接続	https://169.254.0.200:4430

※パソコンでの WEB クライアントとして用いる WEB ブラウザは Google Chrome 及び Firefox の最新バージョンをサポートします。Internet Explorer では一切の操作が行えません。

1.4.3. WEB I/F の管理者ユーザー

初回アクセス時に、ご自身で設定していただきます。

1.4.4. シリアルコンソール/SSH 用 管理者ユーザー

シリアルコンソールや SSH でのアクセスをしなくとも設定・運用管理は可能ですが、必要な場合は以下の ID・パスワードを使用してください。

ID	root
パスワード	0BSI0T

※0BSI0T (0 は数字の 0 です)

2. OBSIDMRX1 の設置・初期設定

2.1. 設置・設定のステップ



2.2. 初期設定

2.2.1. 設定端末の接続

設定端末から WEB 操作画面にアクセスするための準備を行います。以下の手順で設定端末を OBSIDMRX1 に接続してください。

1. 本装置の ETHER-0 に設定端末を接続する。
2. OBSIDMRX1 を起動すると Windows パソコンはこの OBSIDMRX1 と 1 対 1 で直結された場合、自動的にデフォルト IP アドレスネットワーク (169.254.0.0/16) に設定されるので、これで OBSIDMRX1 とパソコンが同一ネットワークに所属した状態となります。

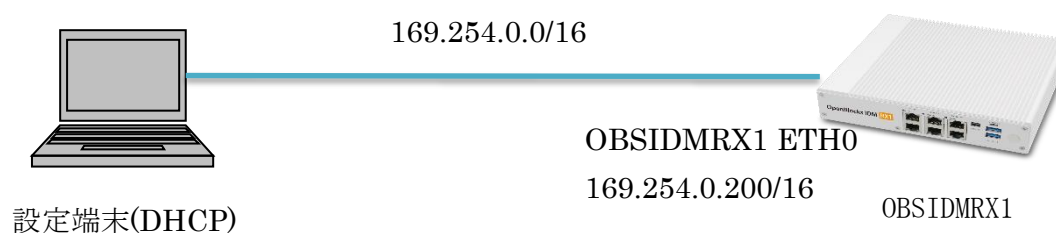


図 2-a 初期設定時のネットワーク構成

2.2.2. WEB 操作画面の表示

設定端末の WEB ブラウザで以下の URL を開いてください。

http://169.254.0.200:880

https を使う場合は以下の URL となります。

https://169.254.0.200:4430

2.2.3. 使用許諾契約書の確認

OpenBlocks®

初期設定

使用許諾契約の確認

使用許諾契約

同意する

同意しない

OpenBlocks

この契約は、お客様とぶらっとホーム株式会社（以下、当社とします。）との間に締結される契約です。お客様がこの契約に同意できない場合には、本体未開封のまま本製品および付属品一式をご購入先まで返品ください。

第1条 定義
本契約における使用許諾の範囲は、当社製品「OpenBlocks シリーズ」付属の管理ツールをいれ、WUI（ウェブ・ユーザー・インターフェース）ソフトウェア製品（以下、本ソフトウェア製品とします。）および取り扱い説明書などの付属資料一式が対象となります。
本契約において「知的財産権」とは、特許権（特許出願権を含む）著作権、ノウハウその他一切の知的創作物に対する権利または法律上の利益をいいます。

第2条 使用許諾
お客様は、本契約の全項目に同意することを条件として、本ソフトウェア製品を、契約対象のハードウェアにおいて使用することが出来ます。

第3条 禁止事項
お客様は以下のことを行うことはできません。
（1）本ソフトウェア製品の複製、改変、再配布、再販売

RealBoard

ソフトウェア使用許諾契約書
製品名： RealBoard

ブロンボット・K株式会社（以下「弊社」と記載します）は、お客様に、本ソフトウェア「RealBoard」（以下「本ソフトウェア」と記載します）を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。

第1条（著作権） 本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

第2条（権利の許諾） お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。お客様は、指定のコンピュータにインストールされている本ソフトウェアのみを使用することができます。

第3条（制限事項）
（1）お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル、その他ソースコード解明を試みることはできません。
（2）お客様は、本契約に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
（3）お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。

使用許諾契約書の内容に同意する場合は「同意する」と書かれたボタンをクリックしてください。「同意しない」をクリックした場合、次の画面に進むことは出来ません。

2.2.4. 初期設定

OpenBlocks®

初期設定

管理者アカウント作成

ユーザー名

パスワード

パスワード (確認)

操作

保存

入力パスワード表示

管理者アカウント設定を行います。手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目に値を入力する。
2. 保存ボタンをクリックする。

各設定項目の詳細については、以下の表をご確認ください。

◆ 管理者アカウント

設定項目	説明
ユーザー名	管理インターフェースへのログインに使用します。英数字を使用することが出来ます。
パスワード	管理インターフェースへのログインに使用します。
パスワード (確認)	入力したパスワードが意図したとおりの値であることを確認するために、再度、パスワードを入力してください。パスワードと一致しない場合は、再度、設定していただくことになります。

2.2.5. ネットワークの設定

OpenBlocks®

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

拡張

AirManage

技術情報

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。

基本

HTTPプロキシ

ホスト追加

ダイナミックDNS

ルーティング

通信確認

状態

ホスト名 (?)

ドメイン名 (?)

デフォルトゲートウェイ (?)

DNSサーバー 1 (?)

DNSサーバー 2

DNSサーバー 3

サービスネットワーク (eth0)

使用設定 ☐ 使用する ☒ 使用しない

サービスネットワーク (eth1)

使用設定 ☐ 使用する ☒ 使用しない

サービスネットワーク (eth2)

使用設定 ☐ 使用する ☒ 使用しない

サービスネットワーク (eth3)

使用設定 ☐ 使用する ☒ 使用しない

USB dongle ネットワーク

使用設定 ☐ 使用する ☒ 使用しない

操作

保存

ネットワークの設定を行います。手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目の値を入力する。
2. 保存ボタンをクリックする。

設定項目は以下の通りです。

◆ 共通設定

設定項目	説明
ホスト名	ホスト名を入力してください。英数字およびハイフンを使用する事が出来ます。
ドメイン名	ドメイン名を入力してください。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定してください。
DNS サーバー1～3	DNS サーバーの IP アドレスを設定してください。DNS サーバーが 2 つ以上存在する場合は、DNS サーバー2 および 3 にも DNS サーバーの IP アドレスを入力してください。

◆ サービスネットワーク(eth0～eth3)

設定項目	説明
使用する	サービスネットワークで使用する本装置のインターフェースを「静的」または「DHCP」を選択してください。
IP アドレス	「静的」に設定した場合、サービスネットワークで使用する本装置のインターフェースの IP アドレスを入力してください。

2.2.6. 装置の停止・再起動

OpenBlocks®



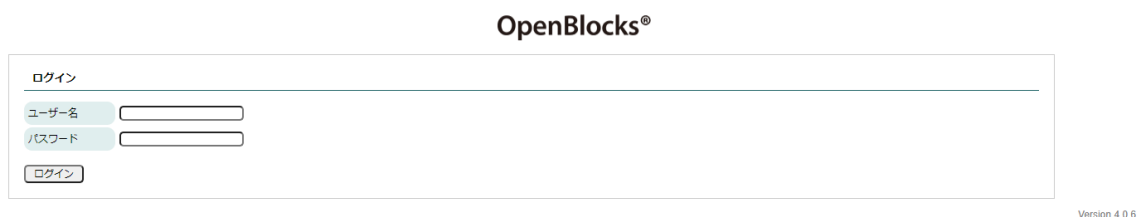
装置を停止・再起動する場合の手順は以下の通りです。

1. メンテナンスタブをクリックする。
2. メンテナンスタブの中の停止・再起動タブをクリックする。
3. 停止する場合は、「停止・再起動」の「停止」の横にある「実行」ボタンをクリックする。
4. 停止画面に遷移したら、実行ボタンをクリックする。
5. 「本当に実行しますか？」とポップアップが表示されるので、OK をクリックする。
6. ステータスインジケータの消灯を確認後、電源ケーブルと LAN ケーブルを抜く。
7. 再起動する場合は、「停止再起動」の「再起動」の横にある「実行」ボタンをクリックする。
8. 再起動画面に遷移したら、実行ボタンをクリックする。
9. 「本当に実行しますか？」とポップアップが表示されるので、OK をクリックすると、自動的に再起動が実施されます。

3. WEB 操作画面

設定変更を行う場合は、操作端末から WEB ブラウザで操作画面を開いてください。
手順は以下のとおりです。

1. 操作端末の WEB ブラウザで以下の URL を開く。
http://<使用ネットワークインターフェースの IP アドレス>:880
例) **http://192.168.1.1:880**
2. 初期設定で設定したユーザー名およびパスワードを入力し、ログインボタンをクリックする。



OpenBlocks®

ログイン

ユーザー名

パスワード

ログイン

Version 4.0.6

図 3-a ログイン画面

3.1. ダッシュボード

OpenBlocks®

[ダッシュボード](#)[サービス](#)[システム](#)[ネットワーク](#)[メンテナンス](#)[拡張](#)[AirManage](#)[技術情報](#)

システム全体の概要 [更新](#)

ハードウェアリソース

メインメモリ : 344 MB / 7863 MB
ストレージ : 1365 MB / 118232 MB

ネットワーク [設定](#)

FQDN : obs.example.org
ゲートウェイ : 172.16.7.1
IPアドレス (eth0) : 172.16.7.210

システム全体の概要を表示します。各項目の詳細は以下の表のとおりです。

◆ ハードウェアリソース

項目	説明
メインメモリ	表示される内容は以下のとおりです。 使用中/全体
ストレージ	表示される内容は以下のとおりです。 使用中/全体

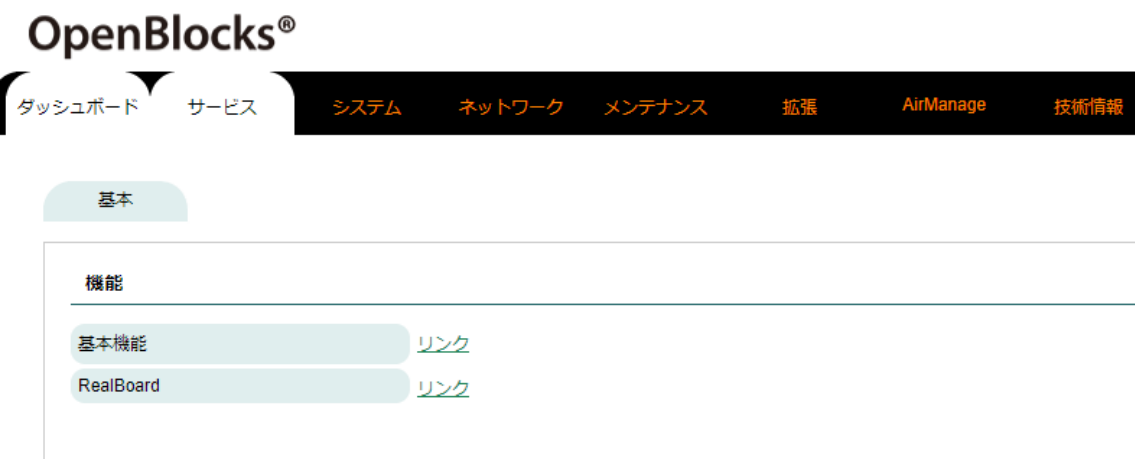
◆ ネットワーク

項目	説明
FQDN	FQDN とは完全修飾ドメインのことです。 ホスト名とドメイン名を結合した値が表示されます。
ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイが表示されます。
IPv4 アドレス(インターフェース名)	各インターフェースに割り当てられた IP アドレスが表示されます。

3.2. サービス

3.2.1. 基本

3.2.2. RealBoard



◆ プロセス状況

OBSIDMRX1 サービスを起動する場合は「起動」を、停止する場合は「停止」を、データベースを初期化する場合は停止(TSDB 初期化)を選択してください。

◆ RealBoard

RealBoard(可視化ツール)へのアクセスは RealBoard 欄にあるリンクをクリックすると、別ウィンドウで RealBoard のログイン画面が表示されます。

RealBoard に関する詳細なマニュアルは別途「RealBoard システム管理ユーザーマニュアル」「RealBoard ポイントユーザーマニュアル」「RealBoard ダッシュボードユーザーマニュアル」「RealBoard チャートユーザーマニュアル」「RealBoard マップユーザーマニュアル」を参照してください。

マニュアル公開ページは下記 URL です。

<https://docs.plathome.co.jp/docs/idm/rx1/>

3.2.3. API 設定

OpenBlocks®

ダッシュボード

基本

RealBoard

RealBoard

API設定

API設定

Basic認証

☐ 使用する ☒ 使用しない

フィルタ機能

☐ 使用する ☒ 使用しない

操作

保存

Basic認証ユーザー設定

Basic認証ユーザー名

Basic認証用パスワード

操作

保存

Basic認証ユーザー一覧

ユーザー名

操作

◆ Basic 認証

データ取り込み時に Basic 認証を使用する場合は使用するにチェックし、Basic 認証ユーザー名および Basic 認証用パスワードを設定、保存してください。

◆ フィルタ機能

データ取り込み時に指定されたキーワードのデータのみ取り込みます。使用する場合はフィルタ機能を使用するにし、フィルタリングしたい対象キーを入力してください。

※本設定を実施した場合、取り込むデータ全てに適用されます

■ 例

センサーA データ{"deviceId": "04000C66","time": "2016-03-14T16:16:59.958+09:00",
"temperature": 25.25,"EEP": "A50205","memo": "Temperature Sensors","rssi": -82}

センサーB データ{"deviceId": "0400197A","time": "2016-03-14T16:16:59.958+09:00",
"svr": 4.7647,"pirs": "on","memo": "Occupancy Sensor","rssi": -71}

フィルタ設定 「temperature」

この場合、temperature 部分のみデータを取り込むためセンサーB のデータは受信してもデータベースへは何も取り込まないことになります。

3.3. システム

3.3.1. フィルター

◆ フィルター開放設定

OpenBlocks®

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

拡張

AirManage

技術情報

基本

詳細

パスワード

フィルター

SSH関連

マイページ

WEBユーザー

ファイル管理

フィルター開放設定 ☐ 再起動後もフィルタ開放設定を有効にする (2)

拡張フィルタ対応 (2)

SSH

☐ 有効 ☒ 無効

解放ポリシー:

ローカルエリアネットワークのみ

Dport

☐ 有効 ☒ 無効

解放ポリシー:

ローカルエリアネットワークのみ

TSDB

☐ 有効 ☒ 無効

解放ポリシー:

ローカルエリアネットワークのみ

操作

保存

iptables表示

iptables(IPv4)

☐ 表示する ☒ 表示しない

iptables(IPv6)

☐ 表示する ☒ 表示しない

OBSIDMRX1 のフィルタを開放することができます。OBSIDMRX1 では RealBoard を使用した可視化設定をする場合にフィルタ開放を行う必要があります。

SSH	SSH サービスのフィルタ開放を行います。通常では開放する必要はありません。
Dport	内部データベースへの書き込み/読み込み API 等を使用する場合に開放を行います。通常では開放する必要はありません。
TSDB	ポイント ID の確認を行う URL へアクセスするために開放が必要です。

その他 WEBUI 機能は OpenBlocks IoT シリーズの FW4.x/FW5.x と共通のため、OpenBlocks FW4/OpenBlocks FW5 ドキュメントを参照してください。

<https://docs.plathome.co.jp/docs/openblocks/fw4/doclist>

<https://docs.plathome.co.jp/docs/openblocks/fw5/doclist>

4. OpenBlocks IoT シリーズ経由で IoT センサーデータ取り込み例

以下に IoT センサー、OpenBlocks IoT シリーズ、OBSIDMRX1 の構成時、IoT センサーのデータ取り込み及び OBSIDMRX1 にて可視化するまでの手順を一例として記載します。

構成及び、それぞれの役割は以下の通りです。

■構成

- ・ オムロン環境センサーBAG 型(2JCIE-BL01) 1 個
環境データセンシング(温度、湿度、照度、気圧、騒音など)
- ・ OpenBlocks IoT VX2 1 台
環境センサーと BLE 通信、OBSIDMRX1 へデータ送信
- ・ OBSIDMRX1 1 台
OpenBlocks IoT VX2 からのデータ受信、蓄積、可視化、CSV エクスポートなど



1. OBSIDMRX1 初期セットアップ

本ドキュメントの 2.2 初期設定を参照し、実際に接続するネットワークに沿ったネットワーク設定を実施後、本体再起動をしてください。

2. OBSIDMRX1 フィルタ開放

本ドキュメントの 3 操作画面を参照しログイン後、3.3 システム 3.3.1 フィルタ開放、フィルタ開放設定から TSDB を有効にし、保存してください。

OBSIDMRX1 側でのデータ取り込みに関する準備は以上です。

3. OpenBlocks IoT VX2 初期セットアップ

※既存の OpenBlocks IoT シリーズにてセンサーデータの収集設定済みの場合は 3.4 の手順をスキップして「5.OpenBlocks IoT VX2 データ送信先設定」を実施してください

OpenBlocks IoT VX2 自体の初期セットアップは専用マニュアルをご参照下さい。

※VX2 が FX5.x の場合は OpenBlocks FW5 ドキュメントを参照して下さい

<https://www.plathome.co.jp/support/document/vx2-doc/>

WEB-UI 接続準備

<https://docs.plathome.co.jp/docs/openblocks/fw4/webui/first/first/>

初期設定

<https://docs.plathome.co.jp/docs/openblocks/fw4/webui/initial/initial/>

4. OpenBlocks IoT VX2 とオムロン環境センサーとの接続設定

OpenBlocks IoT VX2 への必要なサービス追加、IoT セットアップ手順に関して以下をご参照いただき、適時設定してください。

※VX2 が FX5.x の場合は OpenBlocks FW5 ドキュメントを参照して下さい

サービスの追加

<https://docs.plathome.co.jp/docs/openblocks/fw4/webui/service/service/>

IoT セットアップ手順

<https://docs.plathome.co.jp/docs/openblocks/fw4/webui/iotstart/iotstart/>

5. OpenBlocks IoT VX2 データ送信先設定

OBSIDMRX1 へのデータ取り込み形式は数値型データのみ、文字列型データのみ、全データ取り込みの、3 種類あります。

API で 3 種類分かれており、取り込みたい内容に沿って、OpenBlocks IoT VX2 側の IoT データ・送受信設定タブで設定します。

- ・数値型データのみ登録用 API

<http://OBSIDMRX1 IP アドレス:880/apps/realboard/numapi/index.php>

- ・文字列型データのみ登録用 API

<http://OBSIDMRX1 IP アドレス:880/apps/realboard/strapi/index.php>

- ・全データ登録用 API

<http://OBSIDMRX1 IP アドレス:880/apps/realboard/allapi/index.php>

※URL の GET パラメーターにて以下を設定可能。

lid: ローカル ID プレフィックス(ポイント ID のプレフィックス) ※デフォルト: ""

jsonsave: 入力された JSON データ自体を保存するかどうか(true or false) ※デフォルト: false

※OpenBlocks IoT VX2 からのデータ送信先は WEB サーバーです。

※本手順では全データ登録用 API を設定しています。

設定箇所は OpenBlocks IoT VX2 の WEB UI(<http://VX2IP アドレス:880>)へアクセスし、サービス→IoT データ→送受信設定→WEB サーバ(web)です。

6. ポイント ID 自動生成ルール

各種登録用 API 経由で、OBSIDMRX1 へデータ取り込みを実施した場合、ポイント ID はデータ取り込み時に自動生成されます。

自動生成時のルールは以下の通りです。

#	JSON キー	内容	説明
1	time	データ取得日時	時刻の取り込みとして処理
2	timestamp	データ取得日時	時刻の取り込みとして処理
3	deviceId	ID	ポイント ID へ組み込まれる
4	modbusId	Modbus のユニット ID	ポイント ID へ組み込まれる
5	unit	Modbus Unit ID	ポイント ID へ組み込まれる
6	unitId	SID データの送信元 ID	ポイント ID へ組み込まれる
7	memo	メモ	ポイント ID へ組み込まれる WEBUI にて設定した値 半角英数字記号のみ使用可能

- ・送信先 URL 例①(デフォルト)

`http://IDM IP アドレス:880/apps/realboard/allapi/index.php`

- ・自動生成ポイント ID 例①

`/deviceId/unit:xxx/unitId:xxx/modbusId:xxx/memo/json` キー

※取り込み時のデータに該当キーが存在しない場合は省略されます

送信先 URL 例②(lid 有り)

`http://IDM IP アドレス:880/apps/realboard/allapi/index.php?lid=xxx`

- ・自動生成ポイント ID 例②

`/xxx/deviceId/unit:xxx/unitId:xxx/modbusId:xxx/memo/json` キー

※取り込み時のデータに該当キーが存在しない場合は省略されます

送信先 URL 例③(json 有り)

`http://IDM IP アドレス:880/apps/realboard/allapi/index.php?jsonsave=true`

- ・自動生成ポイント ID 例③

`/deviceId/unit:xxx/unitId:xxx/modbusId:xxx/memo/json`

※取り込み時のデータに該当キーが存在しない場合は省略されます

送受信設定

- | | |
|---------------------------------|---|
| 本体内(lo) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| DEXPF(dexpf) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| DEXPF[WebSocket](dexpf_ws) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| MS Azure IoT Hub(iothub) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| IoT Hub[WebSocket](iothub_ws) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| AWS IoT(awsiot) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| AWS IoT[WebSocket](awsiot_ws) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| Google IoT Core(iotcore) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| Watson IoT for Gateway(w4g) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| MS Azure Event hubs(eventhub) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| Amazon Kinesis(kinesis) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| Watson IoT for Device(w4d) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| Toami for DOCOMO(t4d) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| SoftBankスマ可視専用クラウド(sbiot) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| KDDI IoTクラウド Standard(kddi_std) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| PH社独自仕様WEBサーバー(pd_web) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |
| WEBサーバー(web) | <input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない |

WEBサーバー(web) ☒ 使用する ☐ 使用しない

インターバル[sec]

有効時間[sec]

サブプロセス再起動間隔[sec]

接続先URL

最大POSTデータサイズ

コンテンツタイプ

ユーザー名

パスワード

デバイス一括設定

WEB サーバー(web)	使用する
インターバル[sec]	送信完了後～送信開始までの時間間隔を秒単位で設定します。
有効時間[sec]	データ送信できない場合において、保持する時間を設定します。 0 を指定した場合、データ送信が完了するまで保持し続けます。
サブプロセス再起動間隔[sec]	サブプロセスを再起動する間隔を設定します。 通常デフォルト値（86400 秒）から変更する必要はありません。
接続先 URL	http://IDM IP アドレス:880/apps/realboard/xxx/index.php xxx には numapi/ strapi/allapi の何れかを入力します
最大 POST データサイズ	1 回の POST メソッドで送信する最大データサイズを選択します。 1~4Mbyte の中で選択します。
コンテンツタイプ	JSON 形式
ユーザー名	BASIC 認証に用いるユーザー名を設定します。 3.2.3API 設定にて設定していない場合は何も入力しません。
パスワード	BASIC 認証に用いるパスワードを設定します。 3.2.3API 設定にて設定していない場合は何も入力しません。

7. OBSIDMRX1 側でのデータ受信、取り込み確認

WEB ブラウザから以下の URL へアクセスします。

<http://OBSIDMRX1 IP アドレス:1889>

/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/uvi	2021-07-02T17:25:52.520566542+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	0.02	2021-07-02T17:45:25.502+09:00	0.03
/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/discomfortIndex	2021-07-02T17:25:52.522179832+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	75.27	2021-07-02T17:45:25.502+09:00	75.25
/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/sequence	2021-07-02T17:25:52.523121344+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	1	2021-07-02T17:45:25.502+09:00	118
/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/noise	2021-07-02T17:25:52.524805546+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	58.1	2021-07-02T17:45:25.502+09:00	45.64
/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/battery	2021-07-02T17:25:52.525951596+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	2980	2021-07-02T17:45:25.502+09:00	2980
/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/light	2021-07-02T17:25:52.527554189+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	16	2021-07-02T17:45:25.502+09:00	240
/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/pressure	2021-07-02T17:25:52.529015317+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	1005.7	2021-07-02T17:45:25.502+09:00	1005.7
/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/temperature	2021-07-02T17:25:52.530706782+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	26.1	2021-07-02T17:45:25.502+09:00	26.71
/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/rssi	2021-07-02T17:25:52.53253719+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	-70	2021-07-02T17:45:25.503+09:00	-54
/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/heatstroke	2021-07-02T17:25:52.534190287+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	24.49	2021-07-02T17:45:25.502+09:00	24.1
/VX2I2J00282/ebe549d6b376/omron/humidity	2021-07-02T17:25:52.535478846+09:00	-	2021-07-02T17:25:47.726+09:00	67.85	2021-07-02T17:45:25.502+09:00	60.29

左から、PointID、CreationTime、Count、Earlies Time、Earlies Value、Latest Time、Latest Value です。

8. OBSIDMRX1 でのデータ可視化設定

RealBoard へアクセスします

OpenBlocks[®]

ダッシュボード

基本

RealBoard

RealBoard

API設定

RealBoard

リンク

リンク

プロセス状況

起動

停止

停止(TSDB初期化)

RealBoard : 稼働中 (PID : 6149)

JobMeister : 稼働中 (PID : 220)

TSDB : 稼働中 (PID : 224)

Dport : 稼働中 (PID : 229)

ログ

対象アプリケーション

選択したものを表示します ▼

ログ

更新

RealBoard にログイン

ユーザー名

パスワード

☐ このアカウントを記憶

ログイン

デフォルトのユーザー名、パスワードは以下の通りです。

SystemAdmin/ SystemAdmin

※ログイン後、システム管理者のパスワードは変更することを推奨しています

新しいパスワードは必ず記録して管理するようお願いします

システム管理 / データサーバー

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

一覧 / 新規作成 / インポート

データサーバーの新規作成

データサーバID

ホスト

localhost

プロトコル

http

ポート

4555

データ取得APIパス

CSAPI/json

データ削除APIパス

CSAPI/delete

データサーバ種別

CLOUDSHIP API

登録

キャンセル

内部的に使用する ID となり、後述するポイント設定で参照するためのものです。
データサーバ ID には、任意の半角英数字の文字列を入力してください。それ以外はデフォルトのまま登録してください。

チームを作成します。

システム管理 / チーム

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

一覧 新規作成

チームの新規作成

チームの名前

時系列データの期間

期間日数の制限 35

ダッシュボード表示機能

表示有効

(1) マップ・タイル

表示有効

更新間隔[秒]の制限 30

マップ数の制限 10

スポット数の制限 10

(2) チャート・タイル

表示有効

更新間隔[秒]の制限 180

チャート数の制限 10

チーム名を設定します

全角ひらがな・カタカナ・漢字・半角英数字が使用可能です。

ユーザーを作成します

システム管理 / ユーザー

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

一覧 / 新規作成

ユーザーの新規作成

※注意

- ・システム管理で作成したユーザーは、外部ログイン連携できません。
- ・ここで入力したパスワードは、システム管理者が控えて管理してください。
- ・ユーザー作成後のパスワード変更には現在のパスワード入力が必要となります。

ユーザー名

パスワード

パスワード確認

登録

キャンセル

ユーザー名は半角英数字記号で入力してください。

パスワードは 6 文字以上 100 文字以下の半角英数字記号で入力してください。

パスワードは必ず記録して管理するようお願いします。

チームメンバーを追加します

ユーザーが RealBoard の機能を使用するには、チームに所属している必要があります。

システム管理 / チーム

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

一覧 / 新規作成

チームリスト

#	名前
1	ぶらっとホームテスト

所属させるチームを選択します。

システム管理 / チーム

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

一覧 / 新規作成

ぷらっとホームテスト

チームの名前

ぷらっとホームテスト

編集

チームのメンバーとポイント

メンバー数

1

メンバーリスト

ポイント数

20

ポイントリスト

チームの機能

メンバーリストを選択します。

システム管理 / チーム / メンバー

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

ぷらっとホームテスト

チームメンバーリスト

新規メンバー

plathome

管理者権限

☒

追加

ユーザー名

test

戻る

所属させるメンバーを選択し、追加します。

ポイントを登録します

システム管理 / ポイント

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

一覧 / **新規作成** / インポート

ポイントの新規作成

ポイントID

名前

データサーバID

値種別

属性

アクセス許可

登録

キャンセル

システム管理 / ポイント

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

一覧 / 新規作成 / インポート

ポイントの新規作成

ポイントID

名前

データサーバID

値種別

属性

アクセス許可

登録

キャンセル

ポイント ID	http://OBSIDMRX1 IP アドレス:1889 にて確認
名前	表示用の名前
データサーバ ID	データサーバ登録時に設定したデータサーバ ID を入力
値種別	Number/String/Blob(数値型/文字列型/BLOB 型)
属性	ポイントの詳細設定を JSON データ形式で表したもの※1
アクセス許可	読込/書込/削除 基本的にはデフォルトのままにしておく

※1

JSON オブジェクトの Key-Value 形式で属性キーと属性値を設定します。以下の属性キーがあります。

属性キー	説明
UNIT	単位(℃、%、lx、A など)
MimeType MIM	タイプ(image/jpeg、image/png など)
ContentEncoding	エンコーディング方式(base64)

以下に「属性」に設定する JSON データの例を示します。

属性	説明
{"Unit": "℃"}	データの単位に「℃」を設定
{"Unit": "%"}	データの単位に「%」を設定
{"MimeType": "image/jpeg"}	データの形式に JPEG 画像データを設定
{"ContentEncoding": "base64"}	データのエンコーディングに「base64」を設定

「Unit」などの付加情報はデータ可視化の際に使用されますが必須の設定ではありません。

以下のケースでは「MimeType」と「ContentEncoding」を必ず設定してください。

- ・ポイントが BLOB 型で画像データの場合は「MimeType」キーを設定してください。
- ・ポイントが文字列型で日本語など ASCII 以外の文字列を含む場合は「ContentEncoding」キーに「base64」を設定してください。

(※ポイントのデータは UTF-8 の Base64 エンコードされた文字列を扱います)

チームポイントを追加します。

システム管理 / チーム

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

一覧 / 新規作成

ぶらっとホームテスト

チームの名前

ぶらっとホームテスト

編集

チームのメンバーとポイント

メンバー数

1

メンバーリスト

ポイント数

19

ポイントリスト

チームの機能

システム管理 / チーム / ポイント

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

一覧 / チームポイントの追加

ぶらっとホームテスト

チーム未登録ポイント：全 1 件

絞り込み条件

ポイントID

ポイント名

ポイント種別

検索

検索結果 1 件中 1 件を表示

選択ポイント 1 件をチームへ追加

検索結果 1 件を全て追加

☐

#

ポイントID

ポイント名

種別

☒

1

/VX2I2J00282/ebe549d5b376/omron/temperature

オムロン環境センサー_ebe549d5b376_temperature

Number

戻る

システム管理 / チーム / ポイント

システム管理

概要

アカウント管理

チーム

ユーザー

ポイント管理

ポイント

データサーバー

サイト運営

お知らせ

一覧 / チームポイントの追加

ぶらっとホームテスト

チーム未登録ポイント：全 0 件

絞り込み条件

ポイントID

ポイント名

ポイント種別

検索

検索結果 0 件

追加可能なポイントが見つかりませんでした。

戻る

RealBoard 3.23.3

SystemAdmin

ログアウト

新規作成したユーザーでログインします。

plathome でログインしています。



ようこそ！

はじめてログインした場合は、下記のリストからチームを選択してください。

この設定は後から変更できます。

チーム

ぷらっとホームテスト



選択

初回ログイン時はチーム選択画面が表示されますので、所属チームを選択します。

9. その他

グラフやマップの作成に関しては RealBoard 各種マニュアル及び、チュートリアル動画を参照してください。

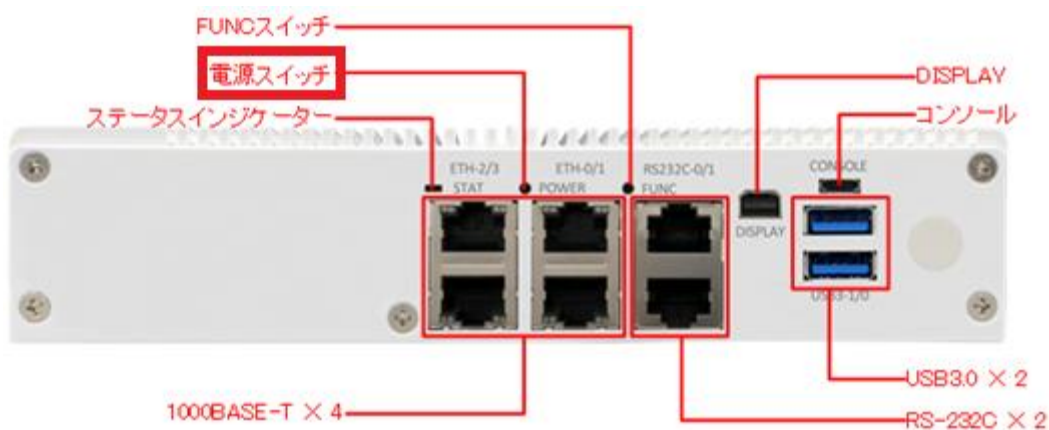
<https://www.plathome.co.jp/support/openblocks-idm/rx1/>

5. 注意事項

5.1. 電源断について

OBSIDMRX1 では、SSD ストレージを搭載しております。唐突な電源断はストレージへの負荷が発生しますので、電源を落とす場合は以下のいずれかを実施してください。

- WEB UI からの停止
- コンソールまたは SSH によるログイン後の `poweroff` コマンド
- 電源スイッチを押しての停止



OBSIDMRX1 ユーザーズガイド

ぷらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F